



平成 20 年 2 月 7 日

各 位

東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号赤坂ツインタワー本館 10 階
ngi group 株式会社
代表執行役社長CEO 小池 聡
(コード番号：2497 東証マザーズ)

平成 20 年 3 月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 19 年 5 月 10 日の決算発表時に公表した平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日）の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) 平成 19 年 5 月 10 日発表	6,000	1,000	1,000	500
今回修正予想 (B)	7,500	2,500	2,500	700
増減額 (B-A)	1,500	1,500	1,500	200
増減率 (%)	25.0%	150.0%	150.0%	40.0%

2. 業績予想の修正の理由

平成 20 年 3 月期第 3 四半期までにおいては、中間期に引き続き ngi mobile 株式会社（現株式会社フラクタリスト）および株式会社 RSS 広告社等の売上高が好調に推移したほか、インベストメント事業の営業投資有価証券売却において未上場株式の売却を行ったことや市場性のある営業投資有価証券が当初の想定を上回る株価水準で推移したことがあげられます。

このほか中間期に引き続き、当社グループの本社費をはじめとした各種コストの見直しを図り約 80 百万円程度の削減効果をとっております。

また、当期はじめから着手している当社グループの事業再編によって、関係会社株式売却益が特別利益が計上される見込みである一方で、徹底した事業整理を行ったことから固定資産除去損やのれん評価損、貸倒引当金計上、その他事業整理による特別損失が生じる見込みであります。

このようなインターネット広告関連事業やインベストメント事業の好調やコスト削減策の成果、

グループ事業再編による特別損益の発生を主要因として、通期連結の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が前回公表値を上回る見込みとなったことにより修正を行なっております。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる結果となる可能性があります。

■本リリースに関するお問い合わせ

n g i g r o u p株式会社 IR担当

Tel : 03-5572-6202 Email : ngi-ir@ngigroup.com

以 上